




URAWA REDS

# SUSTAINABILITY POLICY & REPORT

浦和レッズサステナビリティ  
ポリシー&レポート





01	イントロダクション
02	浦和レッズSDGs優先重要課題について
03	浦和レッズSDGsKPI(2025-2026) HIGHLIGHTS
04	「こころとからだの豊かさをすべての人に」アクションプラン(~2027年)
05	「サステナブルなスタジアムとまち」アクションプラン(~2027年)
06	「レッズファミリーとの共感共創協働」アクションプラン(~2027年)
07	環境アクション推進体制(SPLプロジェクトチーム)
08	環境負荷の少ない移動に関する方針・戦略
09	スタジアムへの交通手段調査結果
10	プラスチック削減・廃止に向けた方針・戦略
11	浦和レッズホームゲームにおけるゴミの量推移
12	生物多様性の基本方針及び取り組み
13	浦和レッズにおけるサステナビリティ教育
14	環境アクションアンケート結果



## INTRODUCTION

私たち浦和レッズは  
**スポーツの持つチカラ**  
を信じています。

浦和レッズはこれまで、SDGs以前のMDGs(ミレニアム開発目標)より、試合運営やホームタウン活動、ハートフルクラブやレッズランドの運営などを通じて社会的課題の解決に向けて取り組んでまいりました。

「浦和レッズSDGs(サステナビリティ)」の取り組みの芯となるものは、浦和レッズの理念にも謳われているとおり「サッカーをはじめとするスポーツの感動や喜びを伝え、スポーツが日常にある文化を育み、次世代に向けて豊かな地域・社会を創っていく」ことであり、SDGsやサステナビリティを強力に推進していくことは、我々の理念を実現することでもあります。

本レポートでは、私たち浦和レッズが進めてきた取り組みと成果、そして今後の方針や戦略を紹介します。

ホームタウンのみなさまやパートナー企業のみならず、多くのファン・サポーターのみなさまとともに、浦和レッズはこれからも情熱と誇りをもって、未来へと歩んでいきます。

浦和レッズSDGs優先重要課題について

# URAWA REDS SDGs

## REDS HEART

### 私たちのところ

こころとからだの豊かさを  
すべての人に

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



浦和レッズがこれまで取り組んできたSPORTS FOR PEACE!プロジェクトやハートフルクラブ、レディースチームやレッズランド運営などの活動をSDGsに照らし合わせると、『3.すべての人に健康と福祉を』、『4.質の高い教育をみんなに』、『5.ジェンダー平等を実現しよう』に寄与すると考えられ、今後はこれらについても常に点検を行い、さらに充実させていくことで、地域のみならず浦和レッズに関わるすべてのみなさまに対して、こころとからだの豊かさを提供できるクラブとして貢献していきたいと考えます。

## REDS GROUND

### 私たちの場所

サステナブルなスタジアムとまち

11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



クラブ理念である「サッカーをはじめとするスポーツの感動や喜びを伝え、スポーツが日常にある文化を育み、次世代に向けて豊かな地域・社会を創っていく」ためには、その土台となる豊かな地球がなければスポーツをすることさえできません。環境問題への取り組みは緊急度の高い課題であるとの認識から『12.つくる責任 つかう責任』に全力で取り組みながら、地域に根差したホームタウン活動やまちづくりへの参画を通して『11.住み続けられるまちづくりを』に貢献していきたいと考えます。

## REDS FAMILY

### 私たちの仲間

レッズファミリーとの  
共感共創協働

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



浦和レッズにはたくさんの仲間、レッズファミリーがいます。ファン・サポーター、パートナー、ホームタウン、浦和レッズに関わるすべてのみなさまとともに一丸となってSDGsに取り組むことで解決できることもますます増えていきます。そして、その先の未来にはきっと、いつまでも浦和レッズを、サッカーを、スポーツを楽しむことができる持続可能で豊かな世界が待っていると信じています。浦和レッズファミリーのみならずみなさまとともに、強固なパートナーシップでSDGsの実現を目指していく、それが『17.パートナーシップで目標を達成しよう』につながると考えます。

# URAWA REDS SDGs KPI (2025-2026) HIGHLIGHTS

OUTLAND  
DIAMONDS

VISION 2030



## 私たちのところ

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を實現しよう

## REDS HEART

サッカーのまち浦和シートの収益の一部をホームタウンの子供たちに還元開始  
埼玉県内のスポーツチームとの提携目標2チーム(選手含む人材交流)

2026/27シーズンより開始

子どもたちの学びや教育に寄与する  
学校授業・訪問を月1回実施(男女合わせて)

※男子トップチーム6回、レディースチーム4回

83%

『人権・グローバル講習』をクラブ内、および市内の学校で4回以上開催

※クラブスタッフ、アカデミー、浦和学院高校等

100%

男女一緒に行政やホームタウン関連のイベントに4回以上参加 ※1回

25%

## 2030年ビジョン

- サッカー(スポーツ)を通じてホームタウンの人たちと交流
- ホームタウンの子供たちへの教育に協力
- 男女の区別なくダイバーシティ&インクルージョンなクラブ



## 私たちの場所

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

## REDS GROUND

ペットボトルの3分別回収率

80%達成

※2025シーズン回収率65.6%

82%

使い捨てプラごみ2023年比で12%削減

※2023年比:3%削減達成

25%

「このゆびとまれっず!」の活動深化または新規アクション1回/年

※2025年10月4日神戸戦「ヒーロー買いキャンペーン」

100%

サステナブルDAYの開催

1回/年

※2025年10月4日神戸戦

100%

オフィスのさらなるペーパーレス化

2023年比12%減

※2023年比:8%削減達成

67%

ホームタウンにおける環境啓発活動の実施または協力10回/年

※「綾瀬川クリーンウォーク」「浦和区秋のごみゼロ運動」「モリンガを育ててみよう!」等

100%

- スタジアムカーボンニュートラル達成(2040年ネットゼロ目標)
- サステナブルな社会の実現に貢献する企業として地域の信頼獲得



## 私たちの仲間

17 パートナシップで目標を達成しよう

## REDS FAMILY

SDGsパートナーの設置に向けたロードマップの策定とアクションプランの立案5件

※実装に向けた議論および準備を実施

95%

SDGs達成に向けてともに歩むレッズファミリー年間140万人

※FCWC試合後のサポーターによる清掃活動動画訴求:約26万人、サステナブルデー来場数:約4万人、同日オウンドメディア訴求約28万人、SFPプロジェクト(安全なスタジアム)年間来場約70万人

90%

- 浦和レッズと企業のつながりを増やす
- レッズファミリーとのつながりを創出する

# HEART & BODY RICHNESS for ALL

「こころとからだの豊かさをすべての人に」アクションプラン(～2027年)

## KPI 01

サッカーのまち浦和シートの収益の一部をホームタウンの子供たちに還元開始

### ACTION

- さいたま市内5区の幼稚園・保育園へ、サッカーボール等を寄贈

## KPI 02

埼玉県内のスポーツチームとの提携目標2チーム(選手含む人材交流)

### ACTION

- プライドリームス埼玉に所属する各スポーツチームと連携し、選手同士の対談や合同イベントを通じて、人材交流を推進

## KPI 03

子供たちの学びや教育に寄与する学校授業・訪問を月1回実施(男女合わせて)

### ACTION

- レッズ先生の活動に加え、選手の出身校訪問や施設訪問を実施し、ホームタウンの子供たちへの教育的な取り組みを強化

## KPI 04

『人権・グローバル講習』をクラブ内、および市内の学校で4回以上開催

### ACTION

- 浦和学院高等学校をはじめとする地域を対象に、継続的な取り組みを実施
- クラブスタッフ、アカデミースタッフ、アカデミー選手(男女)などクラブ内での実施も推進

## KPI 05

男女一緒に行政やホームタウン関連のイベントに4回以上参加

### ACTION

- 「サッカーのまち浦和シート」の収益還元活動や学校訪問等を積極的に展開
- 市役所・区役所・商店会などホームタウン各所への訪問を行い、地域との関係強化を図る

# SUSTAINABLE STADIUM & TOWN

「サステナブルなスタジアムとまち」アクションプラン(～2027年)

SPORTS  
FOR  
PEACE!

SPORTS  
FOR  
PEACE!

**KPI**  
01

ペットボトルの3分別回収率80%達成

**ACTION**

- 呼びかけ・告知・啓発の強化を継続

**KPI**  
02

使い捨てプラごみ2023年比で12%削減

**ACTION**

- 飲食売店から発生するプラスチックを紙にリプレイス
- 同じくリユース食器に変更することを検討
- ペットボトルの販売ではラベルレスを導入
- OPP袋入れから紙ハンガーに変更

**KPI**  
03

サステナブルDAYの開催、1回/年

**ACTION**

- 26/27シーズンでも継続して実施

**KPI**  
04

オフィスのさらなるペーパーレス化  
2023年比12%減

**ACTION**

- 定期的な数値のフィードバックを行いさらなる削減を目指す
- 印刷していた資料のデジタル化推進

**KPI**  
05

「このゆびとまれっず！」の活動深化または  
新規アクション1回/年

**ACTION**

- 新規アクションとして環境に対する取り組みを行う

**KPI**  
06

ホームタウンにおける環境啓発活動の実施  
または協力10回/年

**ACTION**

- 各本部も巻き込んだ活動を検討
- 清掃だけでなく、環境教育も推進

URAWA REDS

05

# EMPATHY, CO-CREATION & COLLABORATION WITH REDS FAMILY

「レッズファミリーとの共感共創協働」アクションプラン(～2027年)

**KPI**  
**01**

SDGsパートナーの設置に向けたロードマップの策定とアクションプランの立案

**5**件



●SDGsパートナーの設置実現(カテゴリーの設定)



**KPI**  
**02**

SDGs達成に向けてともに歩むレッズファミリー

年間**140**万人



- 各取り組みを継続的に実施し、レッズファミリーを巻き込んだ大きなムーブメントへ
- スタジアムでの取り組み
- SPORTS FOR PEACE! プロジェクト
- ハートフルクラブ
- レッズランド
- 三菱重工浦和レッズレディース
- ホームタウン活動・社会連携(チャレン)
- サステナブルグッズの展開/ショップ関連での取り組み
- 選手(男子・女子・アカデミー)参加型の取り組み



環境アクション推進体制(SPLプロジェクトチーム)

# SPL PROJECT TEAMS

2026年1月より、JリーグによるSport Positive Leagues(SPL)がスタートしました。

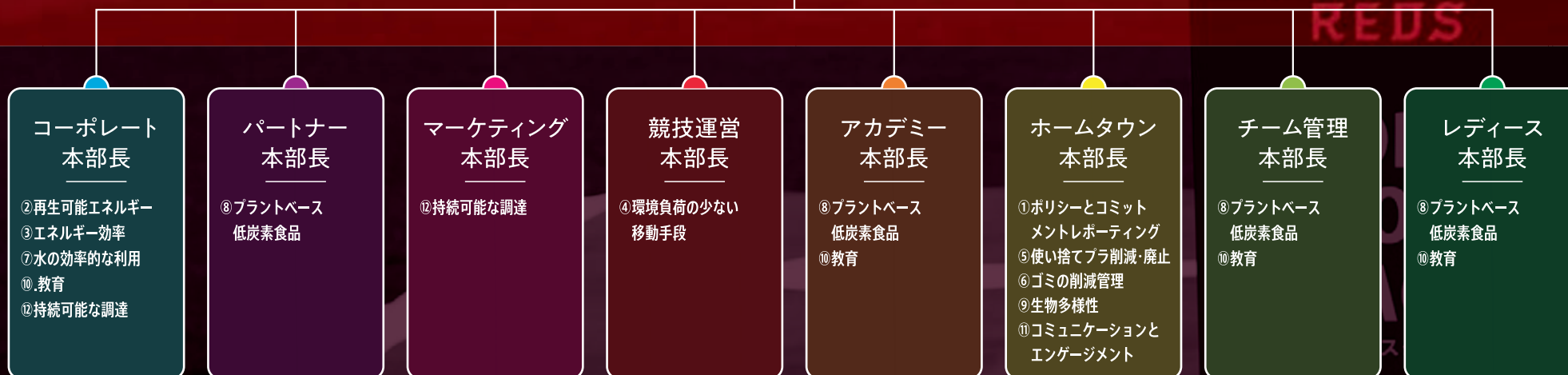
SPLとは、クラブの気候アクションを数値化し、その進捗や目指すべき方向性を一目で把握できる仕組みです。

浦和レッズでは、これまでの環境アクションをさらに推進させるべく、クラブ内にて「SPLプロジェクトチーム」を立ち上げ、

クラブ全体で環境問題へ取り組む体制をより一層強化してまいります。

SPLプロジェクトオーナー 成長推進室長

## SPL PROJECT OWNER



各部門内 [SDGs] 担当

## ECO-FRIENDLY TRANSPORTATION

## ホームゲーム開催日

## 方針策定

- ⇒ 自家用車の利用を抑制するとともに、鉄道・バス・徒歩・自転車など環境負荷の少ない移動手段の利用を促進。
- ⇒ 誰もが安全・快適に来場できる環境を維持しながら、環境負荷の少ないアクセス手段の利用割合向上を目指す。

## 具体戦略

## 公共交通機関の利用促進

- ⇒ 鉄道会社やバス会社と連携し、割引企画乗車券・駅でのチェックインキャンペーンなどの取り組み実施
- ⇒ 関係各所と連携し、駅周辺等の地域の魅力マップを発信

自家用車での来場抑制・CO<sub>2</sub>排出量の削減

- ⇒ シャトルバス運行調整および路線バス増便調整
- ⇒ パーク&ライド施策の検討
- ⇒ 渋滞緩和施策
- ⇒ 駐車場利用者乗合来場キャンペーン
- ⇒ ライドシェアタクシー等の取り組み検討

## 自転車来場促進

- ⇒ 駐輪場案内の強化、主要駅からのサイクルマップを作成・公表
- ⇒ サイクルポート増設&利用促進施策実施

## クラブスタッフの通勤及び移動

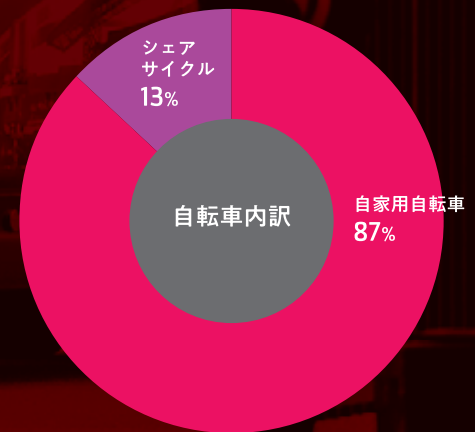
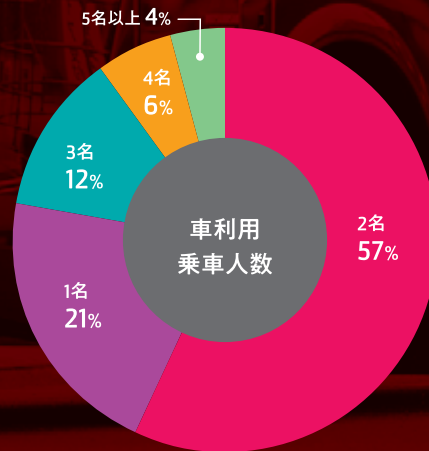
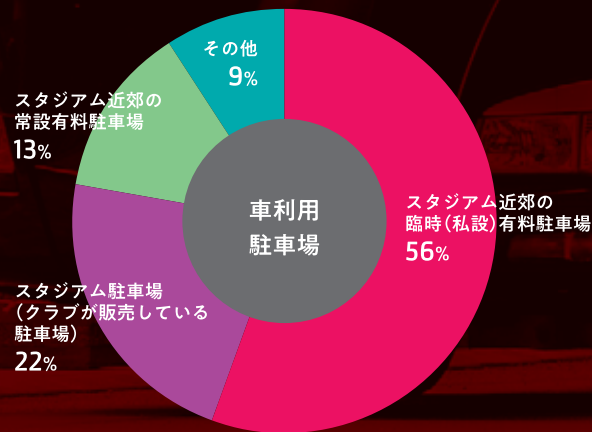
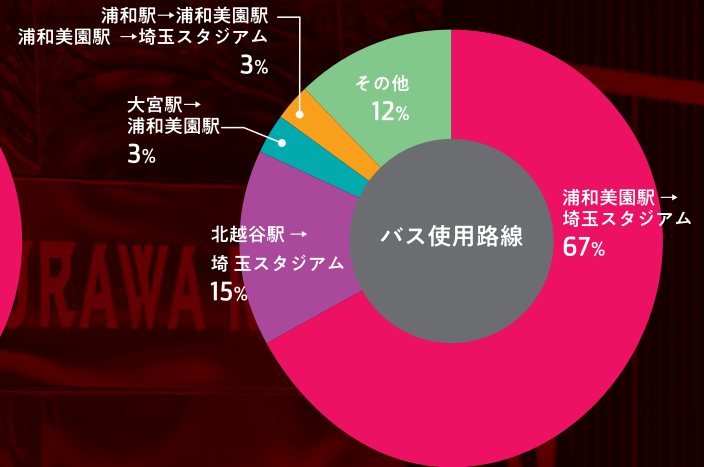
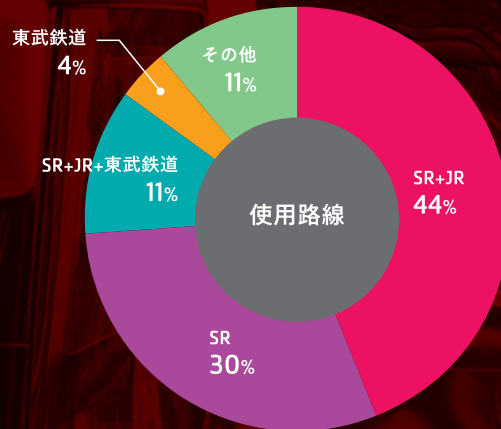
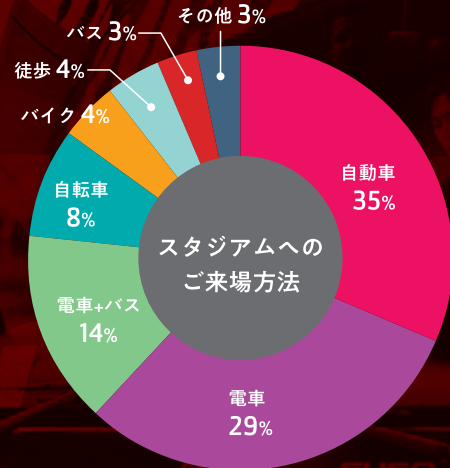
2025年10月の浦和区への本社移転を機に、環境負荷の少ない移動手段による通勤及び移動に関する方針を策定

- ⇒ 一部を除きクラブスタッフの勤務地を本社に集約し、本社への通勤方法は公共交通機関とする。
- ⇒ 外出、本社と他拠点間の移動については原則公共交通機関を利用する。
- ⇒ 社有車の台数を削減、また社有車での移動は必要な場合のみとする。

# POLICY & STRATEGY for ECO-FRIENDLY TRANSPORTATION

スタジアム来場における交通手段調査結果

# TRANSPORTATION SURVEY



アンケート対象者: REX CLUB会員 アンケート実施日: 2026年5月17日~24日

# POLICY & STRATEGY for REDUCTION & ELIMINATION of PLASTICS



## REDUCTION & ELIMINATION

浦和レッズでは、  
使い捨てプラスチックごみを削減するために  
「プラスチック提供削減」「分別徹底&リサイクル」の  
2本柱で各種取り組みを行っています。

### プラスチックの提供を減らす

- ◆リユースカップの導入
- ◆「マイボトル&リユースカップを持って埼玉へ行こう!!」企画の実施
- ◆プラスチック容器から紙容器へのリプレイス
- ◆ウォーターサーバーの設置、マイボトル持参推奨
- ◆ラベルレスペットボトルの販売 他

飲食売店における包材について

	ドリンク類	食品
現在	紙コップ リユースカップ	一部プラ製容器
中期的方針	リユースカップ及び マイボトル持参率向上	紙容器へリプレイス リユース食器導入

### 分別を徹底してリサイクル

- ◆ペットボトル3分別回収  
(ボトル:ボトルtoボトル、キャップ:アップサイクル品の制作や啓発のためのワークショップなど)
- ◆楽しくペットボトル3分別企画「キャップDEゲットゴール」「キャップDESローインゲーム」
- ◆「浦和レッズのプラ製袋回収BOX」の設置 他



浦和レッズホームゲームにおけるゴミの量推移

# TREND in WASTE GENERATION



可燃ごみ



廃プラスチック



紙コップ(トイレトーパーへリサイクル)



ペットボトル(ボトル: ボトルtoボトル、キャップ: 販促品等へリサイクル)



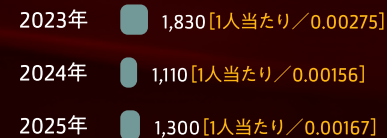
古紙(チラシ等)(マッチデーカード、スタッフ名刺、販促品等へリサイクル)



段ボール(段ボールへリサイクル)



ビン



カン



単位: kg

# BIODIVERSITY POLICY & STRATEGY

## BIODIVERSITY

浦和レッズを含む三菱重工グループは、  
2023年4月に「三菱重工グループ生物多様性宣言」を  
策定しており、浦和レッズもグループの一員として  
これらに沿った取り組みを推進していきます。

### 三菱重工グループ生物多様性宣言(2023年4月制定)

三菱重工グループは、当社グループの事業活動が生物多様性や自然資本から生み出されるさまざまな恩恵に依存していることや、それらに影響を及ぼす可能性があることを自覚した上で、2050年までに自然共生社会を実現することを目指し、以下に取り組むことを宣言します。

**01** 当社グループの事業活動が生物多様性や自然資本にどのように依存しているか、また、どのような影響を与えているかを把握します。

**02** 製品の研究開発、設計、原材料の調達、製造、輸送、使用、サービス、廃棄に至る事業活動の全ての領域で、生物多様性や自然資本への負の影響の低減に努めます。

**03** 生物多様性の損失と気候変動が相互に密接に関連することを認識し、生物多様性の損失を気候変動と同様に経営の最重要課題の一つとして位置づけます。

**04** 生物多様性や自然資本の保全に資する社会貢献活動に取り組み、地域の創生や自然の回復を促します。

**05** 生物多様性や自然資本への取り組みをより効果的なものにするために、様々なステークホルダーと連携・協働し、知見を共有します。

**06** 環境教育を通じて、全グループ員の生物多様性や自然資本に対する意識の向上を図ります。



三菱重工グループ生物多様性宣言

[https://www.mhi.com/jp/sustainability/environment/pdf/declaration\\_on\\_biodiversity\\_j.pdf](https://www.mhi.com/jp/sustainability/environment/pdf/declaration_on_biodiversity_j.pdf)

### 浦和レッズの生物多様性の取り組み

#### 綾瀬川クリーンウォーク

スタジアム周辺・地域の清掃活動

#### 生物保全

「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」に沿ったクラブハウス

#### 共生ガーデン

クラブハウスに地域由来の植物植栽

#### レッズローズ

世界初、クラブ名が付いたバラ植樹活動

#### 無農薬芝生

レッズランドにおける芝の無農薬育成

# SUSTAINABILITY EDUCATION

## in URAWA REDS 浦和レッズにおけるサステナビリティ教育

サステナビリティの推進において、教育は欠かせません。  
クラブスタッフのみならず、チームやアカデミー、スクール生までが正しい知識をもち、意識を高めることが重要です。

### プログラム

#### 環境教育プログラムの実施

(協力:埼玉県環境部エネルギー環境課)

#### ユニバーサルマナー検定3級取得

#### 盲導犬受け入れ・視覚障害サポート研修、教室の実施

#### 人権・グローバル講習

#### LGBTQ+をテーマにした講習

### 対象

- ・クラブスタッフ
- ・アカデミー生
- ・選手
- ・スクール生
- ・チームスタッフ

- ・クラブスタッフ

- ・クラブスタッフ
- ・浦和レッズ後援会スチュワード
- ・ホームゲーム来場者

- ・クラブスタッフ
- ・アカデミー生
- ・浦和学院高等学校 他

- ・クラブスタッフ



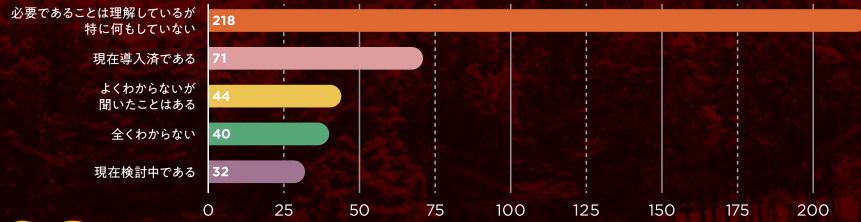
# SUSTAINABILITY

環境アクションに関するアンケート結果

# ENVIRONMENTAL ACTION SURVEY

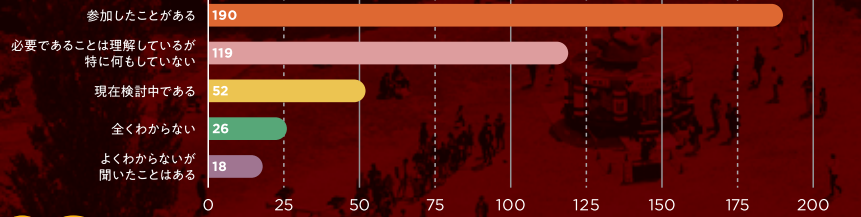
## 01 再生エネルギーへの移行状況

地球温暖化の防止やエネルギー安定確保のために、ご家庭においても再生可能エネルギーへの移行が必要です。現在の状況をお聞かせください。



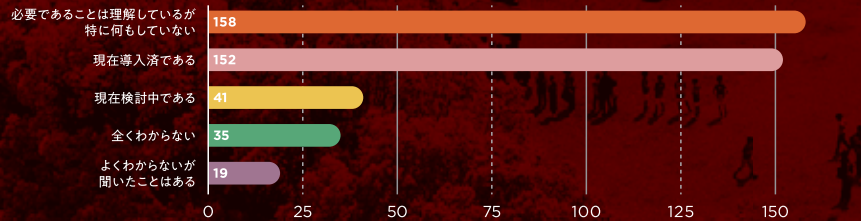
## 02 家庭でのエネルギー効率向上(LED照明の導入)

地球温暖化の防止と光熱費の削減を両立させるには、ご家庭でのエネルギー効率の向上(LED照明の導入、省エネ家電など)が必要です。現在の状況をお聞かせください。



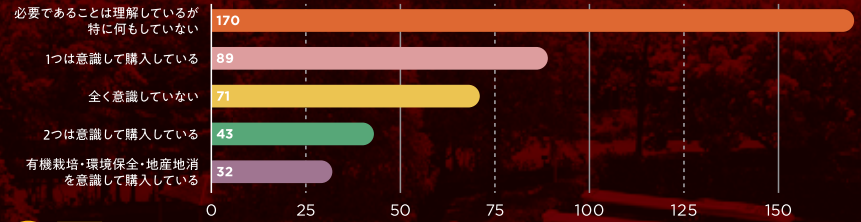
## 03 水の効率的な利用(節水型機器の導入など)

水を使用するプロセスには電力が使われており、その分のCO<sub>2</sub>が発生するため、ご家庭においても水の効率的な利用(節水型トイレやシャワーヘッドなど)が必要です。現在の状況をお聞かせください。



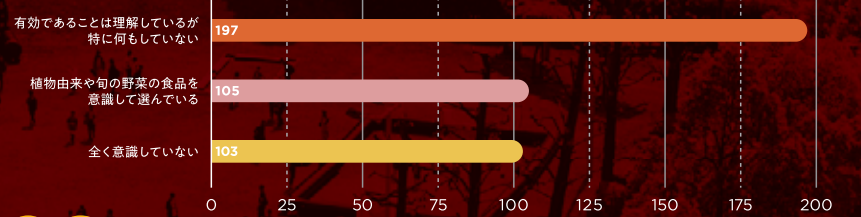
## 04 持続可能な食品の調達(有機栽培・環境保全・地産地消)

地球温暖化防止につながる取り組みとして持続可能な方法で食品を調達することが有効です。現在の状況をお聞かせください。



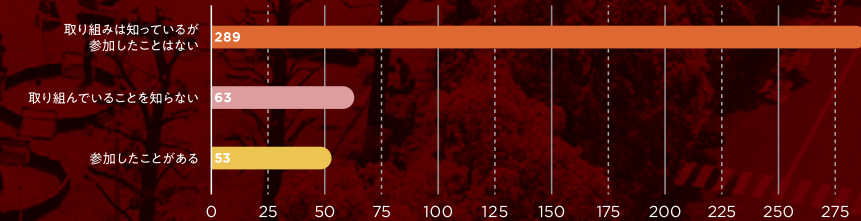
## 05 プラントベース・旬の食品の選択

地球温暖化防止につながる取り組みとしてプラントベース/低炭素食品を選択することも有効です。現在の状況をお聞かせください。



## 06 浦和レッズ的环境取り組みへの参加

生物多様性の促進や自然保護の重要性を伝えるための浦和レッズの取り組み(クリーンウォークやSDGsワークショップなど)をご存じですか？



アンケート対象者: REX CLUB会員 アンケート実施日: 2026年5月17日~31日